



小型回収カプセル帰還の様子

小型回収カプセル帰還

宇宙ステーション補給機「こうのとり」7号機(HTV7)から放出された小型回収カプセルが、11月11日に無事回収されました。これは国際宇宙ステーション(ISS)からの物資回収技術実証として行われ、HTV7の大気圏再突入前に地上からのコマンドでカプセルを分離・再突入させ、パラシュート降下し着水した後に南鳥島沖で回収されたものです。

今回の成功は、ISSでの実験試料などを持ち帰る手段となり、将来的には有人宇宙船の開発につながる可能性もあります。

明星電気は、この小型回収カプセルの電源・データ処理ボックス、バッテリーユニット、DC/DCボックスなどを担当しています。

これからも宇宙開発の発展に貢献していきます。

(担当: 宇宙防衛事業部)



講演の様子

第1回ビジネスマッチングフェアで講演

第1回気象ビジネスマッチングフェアで、「超高密度気象観測・情報提供サービスの概要と活用サンプル」と題して講演とPOTEKAデモ機展示を行いました。

気象ビジネス推進コンソーシアム(WXBC)は、産業界における気象データの利活用を推進するとともに、近年発展しているIoT、人工知能(AI)、ビッグデータなどの技術を駆使して、気象データを高度利用した産業活動を創出・活性化するべく設立された500会員を超える組織です。当日は、気象業務振興議員連盟会長の挨拶で始まり、政府関係者の会場視察があるなど活況を呈し、新たな企業同士の出会いの場となりました。

明星電気は、POTEKAを通して気象情報の利活用を一層推進するべく、事業を展開していきます。

(担当: 気象防災事業部)



当社展示ブース

第62回宇宙科学技術連合講演会に出展

10月24日から26日の3日間、福岡県久留米市で開催された第62回宇宙科学技術連合講演会にIHIグループとして出展しました。この講演会は、日本航空宇宙学会が主催する日本の宇宙の研究者が一堂に会する発表会の1つです。

当社は、高速Xバンド送信機MTX-540X、Cubesat OBCの試験モデル、衛星搭載用高圧電源のモックアップを展示しました。MTX-540Xは125MHz帯の周波数を利用し、538Mbpsの高速地上転送を実現します。Cubesat OBCは、放射線耐性の強さ・通信エラー訂正による高い信頼性、様々なインターフェースを備えた汎用性が特徴です。衛星搭載用高圧電源は、検出器に印加するための高圧電源を供給します。

これからもこのような機会を活用して、明星電気の技術力を積極的にアピールしていきます。

(担当: 宇宙防衛事業部)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。